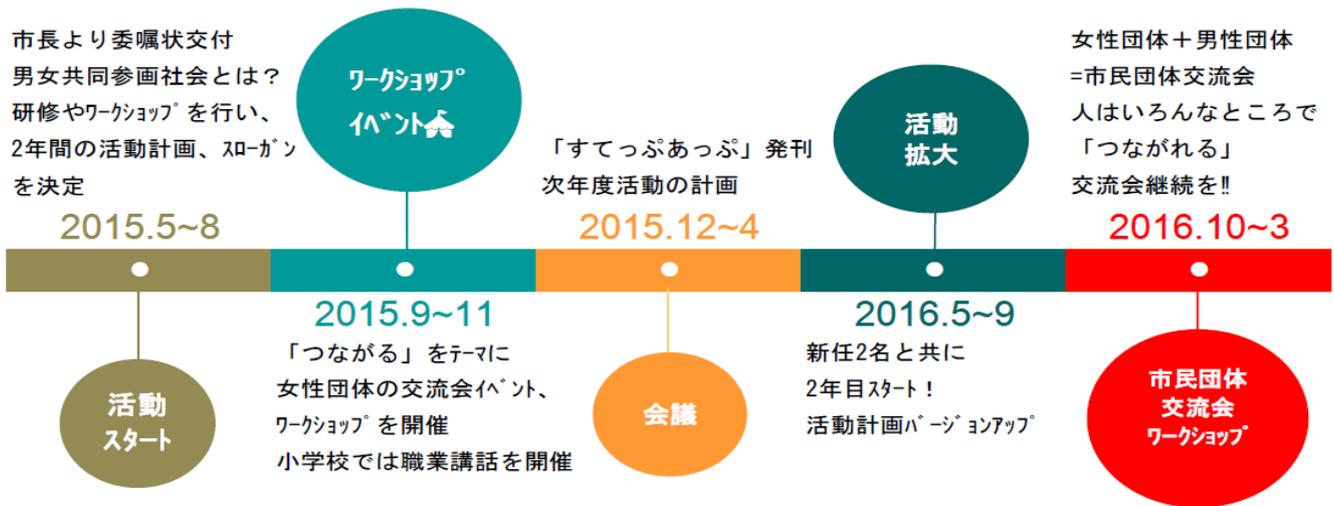


# すてっぷあっぷ



裾野市男女共同参画推進市民委員会では、「みんなが声を出せる社会～地域力を育て子どもからシニアまで活躍できるまち～」というスローガンを掲げ、裾野市における男女共同参画社会の実現に向けて活動をしてきました。

## ●男女共同参画推進委員会 2年間のあゆみ



## ●市民団体交流会を開催

10月30日（日）ワークショップ

お互いの団体の活動内容や強みを知ることで、互いにつながり合い、助け合うことができます。幅広い年齢層の約 50 名が参加しました。冒頭には「SWOSの会」による男女共同参画をテーマにした寸劇が披露され、日常の中に潜む意識の違いを参加者で共有しました。

交流会では、グループごとに①自分たちの団体の抱える課題②他団体の抱えるその課題に対して自分たちができることを、ワークショップ形式で話し合いました。

各団体から出された課題として、「活動のマンネリ化・停滞」「なかなか活動が広まらない」「後継者不足・会員の減少」などが挙げられました。各団体とも同じような悩みを抱えていることが分かり、それらを打開するアイデアや、互いに協力し合える部分なども発見することができました。参加者からは、「また参加したい。」「活動に対するモチベーションが上がった。」といった声が多く寄せられました。

（高橋）



12月11日（日）市民団体交流会イベント

イベントには14の団体が参加し、ハンドメイド雑貨や手作り菓子・ジャムなどの販売や体験コーナーもあり、とても楽しいイベントとなりました。また、古着回収では地域の方々の協力により、子供服から紳士・婦人服など数々の衣類が集まり、会場では大勢の人たちが楽しく交流しました。「またこのようなイベントがあったら参加したい。」という声もありました。（二見）

## ●深良小・南小で職業講話



小学4年生が将来の職業について考える場のひとつとして、男女比率の違いが大きい職場で働く、男性保育士と女性警察官の二人を招き、職業講話を開催しました。「夢や興味を持ってそれを叶えるために、まわり道をしたとしても諦めずに挑戦し続ければ、きっと夢は叶います。」「同じ職業で働いていても男性・女性、ものの見方・考え方が異なり、それぞれの良さや特長を活かしていくことが大切です。」「〇〇だから、という枠にとらわれず、自分の“なりたいもの”に向かって

努力することは大切。」「そのために今やっていることに無駄なことはない。」

話を聴きながら真剣にメモをとり、たくさんの質問をしたこどもたち。将来の職業の選択肢を広げる場になったことと思います。(勝又紀)

## ●会長からひとこと (会長 三ツ石純子)

市民委員会では、「つながる」に意識し活動を続けてきました。「人と人とのつながり」「団体と団体とのつながり」を持つ場を積極的に作ることができた2年間だったように思います。

家族と触れ合う時間を大切にしつつ、仕事や地域の活動、学習など、さまざまな活動を自ら望む形で展開することができる裾野市の実現に向け、また、一人ひとりが日々の生活に対して、誇り・生きがいや充実感・明日への希望、そして豊かさを実現できるよう、裾野市の男女共同参画への理解が広がることを期待しています。2年の任期を終えるに当たり、市民委員各々が主体となり、会の企画・運営を行なえたことに対し、深く御礼申し上げます。



## ●委員からひとこと

- 男女共同参画は、仕事や家事、育児、介護等の様々な面で考える必要があると思います。社会の仕組みを変えていくことは簡単ではありませんが、一人ひとりが声を上げていくことの大切さを感じた2年間でした。(木邨)
- ここ数年で、市民の男女共同参画に対する認知度は格段に向上したと感じます。今後、男女共同参画社会実現のための社会基盤の議論が更に発展、加速されることを願っています。(勝又精)
- 今年度から委員となり、男女共同参画という言葉に初めは戸惑いがありました。国の政策にも掲げられていますが、我々に何ができるか検討を進めることは容易なことではありませんでした。次年度は市民の皆さんの声をもっと取り入れて、有意義な活動としていきたいです。(大山)
- 「多様性」ということが重要になってくるこれからの社会で、この2年間で経験したことを、自分なりに生かせるよう考え、行動していきたいと思います。(内田)
- この2年間、行政がどのように男女共同参画に取り組んでいるのかという点を、私が学んできたことと融合することができたことが大きな収穫となりました。誰もが社会における責任を果たしながら、自由に生き方を選択し認め合える、そんなまち「すその」であってほしいと思います。(増田)



編集 / 裾野市男女共同参画推進市民委員会

(三ツ石・内田・大山・勝又精・勝又紀・木邨・眞田・高橋・二見・増田)

発行 / 裾野市生涯学習課市民協働室 (裾野市深良 435 番地 TEL992-3800)

